

「その人らしく働くということ ～発病から就労までの物語～」

脳卒中、脳外傷は、その人だけでなく家族にまで影響を与えるとても大きなライフイベントです。そして、そのような出来事を乗り越え、再び「働く」という形で社会参加する方もいます。

今回は脳出血により視覚失認などを呈した50代の女性の、入院、外来リハビリ、ボランティアを経験して就労するまでの経過、そして実際に働いている中での思いを本人から直接お聴きする機会をいただきました。本人とともに医療から就労までの流れを追体験してみましょう。

今回の報告が今後の支援の一助となれば幸いです。

講師：垂下 直樹氏

(浜松市リハビリテーション病院 作業療法士)

日時：令和6年1月28日(日曜日)
10:00～12:00(受付9:30～)

会場：ZoomによるWeb講演会



参加費：県士会員 1000円、非会員 2000円

<申し込み方法>

下記 URL か QR コードより、パスマーケットへアクセスし、
必要事項を入力して申し込みください

確認後、1週間前に勉強会のZOOM IDとパスワードを送信します。

URL：<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02wp1parvie31.html>



<締め切り>

令和6年1月21日(日曜日)

<県士会員の方へ> 本勉強会は、基礎研修2ポイントが付与されます。

事務局：柳川 otshizuokahbf@gmail.com

電話：053-471-8331

代表：浜松市リハビリテーション病院 作業療法士 植田正史

